

安芸市立安芸第一小学校 学校評価自己評価書									
学校教育目標		人間性豊かな自立に向かう児童の育成～学びの自立・心の自立・生活の自立～			研究主題	学びの自立をめざして～自ら考え、表現できる児童の育成～			
項目	中期目標＜３年後の到達目標＞	行動指針＜３年間の取組方針＞	短期目標＜本年度＞	具体的な取組及び評価指標	短期目標の達成状況	改善方策	自己評価	関係者評価書	評価
確かな学力	1. 個別最適・協働的な学びの一体的な授業づくりの推進 ○授業力チェックシート3.3以上 ○全国・県版・市版学調：全国平均以上を継続する	○各教科、各単元で身に付ける力の確認、ゴールから設計する授業構成 ○語彙力・表現力の向上（漢字・用語の活用、読書指導、表現する場の設定） ○ICTの効果的な活用	①授業力チェックシート3.3以上 ②ICT機器を家庭や授業でほぼ毎日活用している児童の割合 年度末評価90%以上 ③全国・県版・市版学調各学年全国同等もしくは全国平均以上	○授業力チェックシート 年度当初＜年度末 ○全校研・ブロック研の全員実施 ○ICT機器を家庭や授業でほぼ毎日活用している児童の割合 年度当初＜年度末 ○ICTの効果的な活用のための研修年3回以上実施 ○学力調査分析研修2回実施 ○分析結果を踏まえた授業改善の実施					
	2. 家庭学習の充実 家庭学習調査： ○毎日宿題90% ○自主学習80% ○計画的に学習80%	○学年相応の量の調整 ○自主学習の評価活動 ○ICTの効果的な活用	①毎日学習 年度末評価90%以上 ②自主学習 年度末評価80% ③計画的な学習 年度末評価80%	○家庭学習の手引きの作成と継続的な指導 ○家庭学習強化週間の設定（年2回） ○家庭学習調査の実施 ・毎日宿題 ・自主学習 ・計画的な学習 以上の項目全てで年度当初＜年度末 ○家庭学習におけるタブレットの活用促進					
健やかな体	1. 体力の向上 ○全国体力・運動能力調査4項目全国平均以上	○体育科の授業改善・日常生活の中での運動量確保（外遊び・体育朝礼）	①全国体力・運動能力調査：男女とも3項目で全国平均以上	○年間を通じたセット運動（授業始め→ランニング→リズムジャンプ・準備体操）の実施100% ○体力・運動能力向上プログラムの活用 100% ○体育アンケート：運動が好き90%以上 ○体育授業時間の半分以上を運動にあてる100% ○体育朝礼の実施：年6回以上					
	2. 生活リズムの確立 ○就寝時刻遵守70%以上 ○メディア使用2時間未満達成率 1学期より3学期が改善	○生活習慣・メディアに関する意識改革のための取組（あき元気っカード、ネット休みの日） ○養護教諭・栄養教諭による保健指導、食に関する指導、個別の生活指導	①就寝時刻遵守70%以上 ②生活リズム調査（メディア使用含む）年3回実施	○生活リズム調査分析・検証年3回 ○担任・養護教諭による生活指導の実施年3回 ○各種通信による保護者への啓発年3回					

豊かな心	1. 豊かな心の育成 ○道徳意識調査：自分にはよいところがある肯定的回答75%以上	○学校の活動全般や道徳、学級活動を通して自他を認め合う場の設定 ○家庭と連携した道徳教育の推進	①道徳意識調査：自分にはよいところがある75%	○学校での活動全般、道徳、学級活動を通して、自他を認め合う場の設定 →帰りの会等でのいい所見つけ実施100% →集会や掲示板等の活用年2回以上 ○自己有用感を高める取組の充実 →全校共通の学級活動の実施年3回 →係活動の実施100% →縦割り班活動の充実、集会や活動年3回以上					
	2. 生徒指導・特別支援教育の充実 ○Q－Uアンケート：学校生活満足群全校平均70%以上 ○不登校・不登校傾向児童の減少	○どの子にも「分かる」「できる」ユニバーサルデザインに基づく授業づくりの取組 ○専門機関との継続的な連携を図る	①Q－Uアンケート：学校生活満足群全校平均65%以上 ②新規不登校0	○アンケートを用いた予防的生徒指導の実施 →Q－U、学校生活アンケート：分析・検証各年2回 →支援会の計画的な実施年50回以上 →UDチェックシート2回 ○不登校傾向児童の早期発見 →支援会による早期対応実施100% →サポートルームの設置と効果的な運用の実施					
基盤となる体制等	1. 働き方改革の推進 ○時間外在校時間が月45時間以内を遵守できた教員の割合が半数以上	○タイムマネジメント力の向上 ○校務支援員の活用	①時間外在校時間が月45時間以内を遵守できた教員の割合が50%以上	○一斉退庁週間の設定（月1回） ○夏季休業中に10日以上休暇を取得した教員の割合90%					
	2. 防災・安全教育の充実 ○あらゆる災害を想定し、児童が自らの命を守るために必要な知識・技能を身に付け、それを確認できる授業や訓練が実施できている	○家庭や地域と連携した学校安全の取組の充実を図る ○「高知県安全教育プログラム」に基づく防災を中心とした安全教育・安全管理の充実を図る	①様々な場面を想定した避難訓練の実施 年4回以上 ②防災アンケート：自分で考えて避難することができたか 年度末肯定評価90%以上	○休み時間や掃除の時間、地域合同など、様々な場面を想定した避難訓練の計画・周知、実施 ○防災アンケート：自分で考えて避難することができたか肯定評価年度当初<年度末					
	3. 保小中連携の推進 ○保小中の教職員が、連絡会や研修会を通して連携を密にし、相互理解や実践を深めることができる	○架け橋期のカリキュラムをもとに、幼児期の子どもの経験や学びのつながりを意識した教育を実施する ○9年間を見通した学校間連携を推進する	①小1児童アンケート：学校が楽しい 肯定評価90%以上	○年2回の連絡会実施 ○夏季休業中の保育所訪問及び研修会の実施 ○関係機関と連携した引き継ぎミーティングの実施					
	4. 家庭・地域との協働体制の確立 ○学校評価アンケート 保護者「保護者や地域の意見を聞き、学校運営に生かしている」肯定評価80%以上 ○地域学校協働本部事業年間50回以上 ○学校運営協議会年3回の開催	○各種通信、すぐーる等での情報提供 ○年間活動計画に沿って実施 ○学校運営協議会で方針や取組を説明し、協働体制を確立する	①学校評価アンケート 「保護者や地域の意見を聞き、学校運営に生かしている」肯定評価80%以上 ②地域学校協働本部事業年間50回以上	○各種通信やすぐーる等を活用し、積極的に情報提供を行う ○地域コーディネーターとの連携強化 ○学校運営協議会：年3回開催					
不祥事防止等	1. 不祥事を生じさせない 職場風土づくり ○不祥事事案の発生0 ○学校評価アンケート「助け合い支え合える職場が形成されている」肯定評価80%以上	○服務研修やチェックリスト等を活用し、風通しの良い、不祥事を生じさせない職場風土を構築するとともに、教育公務員として法令遵守の意識を高める	①不祥事事案の発生0 ②学校評価アンケート「助け合い支え合える職場が形成されている」肯定評価80%以上	○服務研修：学期に2回 ○不祥事チェックリスト：学期に1回 ○不祥事防止委員会：学期に1回 ○学校運営協議会への報告：年3回 ○ブロック会やメンター会を活用し、支援し合える職場づくりを推進：メンター会年8回以上					